

学校教育目標	～ 誇 り ～ (学校や自分に自信を持ち、生きる力を育みます。) 確 立 (学力や体力など確かな力を身につけ、自主自律を育みます。)[知・体] 共 生 (思いやりを持ち、自他を尊重する豊かな心を育みます。)[徳・公] 飛 翔 (夢を持ち、未来を切り拓く力を育みます。)[開]				
	学校概要 創立 72 周年 児童生徒数: 502 人	学校長 石崎 一敏 副校長 長谷部 宏行	3 学期制 一般学級: 14 個別支援学級: 3	主な関係校: 都田小学校、都田西小学校、折本小学校	

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	都田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈言語能力〉 〈自分づくりに関する力〉 〈持続可能な社会の創造に貢献する力〉	都田中学校 都田小学校 都田西小学校	○思いやりと自信を持って未来を切り拓く子ども ○学び合い、心身ともに健やかに生活できる子ども ----- ・委員会交流、部活動交流、地域清掃などの機会に、リーダーシップ、メンバーシップ、あこがれ、等々の意欲的な心が育つように行事を進める。 ・毎月本校で行う教務主任会で、より連携が深まるよう、授業参観や行事の取組を確認する。 ・育てたい子ども像を共有し、児童生徒指導の取組について情報交換をする。

中期取組目標	○子どもを中心とした一人ひとりを大切に、地域と連携した魅力ある学校づくりを目指します。 ・一人ひとりを大切にしながら、理解しやすく意欲的に学べる授業を目指します。 ・教育環境の整備を図り、子どもたちが主体的に活動できるよう努めます。 ・心身ともに健やかで、心豊かな生徒を育てます。 ・小中一貫教育を推進し、お互いのよさを知り連携していきます。 ・地域の伝統文化を大切に、地域行事に積極的に参加していきます。
---------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知 担当 学習指導部	①全職員が生徒の学習状況の理解に努め、状況に応じた教科支援の体制を整える。②指導と評価の一体化を引き続き徹底し、基礎・基本の確かな定着に努める。③学力の三要素をバランスよく身につけさせるための授業展開に努める。④日頃から学習の動機を高めるための課題の提示に努め、家庭学習の充実に努める。
豊かな心 担当 人権教育・道徳指導部	①生徒会や生活委員会を中心にあいさつ運動の取り組みを広めていき、気持ちよく過ごすことの良さを実感させる。②道徳の時間において、[自主、自律][向上心、個性の伸長][思いやり、感謝][相互理解、寛容]の学習を充実させる。
健やかな体 担当 体力向上推進委員会	①新体力テストの結果を利用し、体力向上に向けて生徒が自ら実践できる運動を考えられるようにする。②体育の授業において準備運動の中でランニング活動を継続的に行うとともに、ソフトボールやハンドボールにおいて投運動の技能を高める取り組みを実践する。
児童生徒指導 担当 生徒指導・特別支援部	①YPアセスメントシートや教育相談、支援計画などを活用し、個に寄り添った指導体制を構築する。②委員会活動や、部活動など様々な観点から生徒のマナーの向上と自主活動を促進させる。③いじめ防止対策委員会の定着と、組織的な指導体制の深化を目指す。
地域連携 担当 渉外部	①地域行事やボランティア活動については、運営母体を広げたり、毎年実施されているものについては先を見通して参加を募るなどの改善をしていく。②学家地連などを通して、生徒についての意見交換を積極的に行い、より良い学校・家庭・地域の連携を進めていく。③地域の人材活用を推進する。
キャリア教育 担当 総合学習指導部	①【自分を知る】【進路情報の収集・整理、活用】に努める【相談する】継続して行う。②1年生では職業講話、職業インタビュー(冬休みの宿題)を実施する。2年生では職場体験学習を行う。そして、3年生では、進路情報の積極的な発信や面接練習や面接シートの学習を深める。③ふれあいの時間や三者面談を利用して、生徒の進路に関する悩みや相談を親身に受け、助言する。
特別支援教育 担当 特別支援教育委員会	①「特別支援教育部会」を引き続き定期的に関き、学校全体で支援する体制を整える。②ユニバーサルデザイン(フロントゼロ)は一年を通して定着させる。③「学習サポート日」はサポートを必要とする生徒が参加しやすい環境を更に整えていきたい。④特別支援教室の利用者の増加が見込まれるため、ニーズに応えられるよう整備に努める。
いじめへの対応 担当 生徒指導部	①「いじめ対策防止委員会」の定期的な運用を引き継ぎ、いじめの把握、対策に努める。 ②アンケート実施にYPアセスメントシートを活用し、日ごろから生徒たちの状況把握に努める。 ③いじめに対してその防止を組織的に推進する。
人材育成・組織運営(働き方改革) 担当 教務部	①職員に求められる資質が多様化しているため、よりニーズにあった研修を重ねていく。 ②働き方改革につながる組織改編とその運用に努めていく。